

9月定例議会の一般質問は、市長への不信任案提出の影響もあってか、発言通告を提出したのは14人とどまりました。

日本共産党議員団からは、平良木・橋爪の両議員が質問します。各議員の質問予定日と内容は次の通りです。

平良木哲也議員

(13番目 9月20日(金)午後の見込み)

1. 小中学校のデジタル教育環境整備について

(1) 各学校でのWi-Fi環境整備は、順次整備されているとのことだが、完全整備までの見通しを明らかにされたい。

2. 中学校の部活動の地域移行について

(1) 中学校の部活動の地域移行が進められているが、部活の種類によってその進捗状況に大きな差があるのではないか。その差をどのように埋めていく考えか。

(2) 特に吹奏楽部については、他の部活動とは異なる困難性があり、各自治体とも様々な工夫や努力をしながら、よりよい地域移行を模索している。当市では、どのような方向で進めていく考えか。

(3) 柏崎市では、地域の吹奏楽団体とも連携し、学校施設の改修も含めて地域移行を進めていると聞くが、把握しているか。ある

程度把握しているとすれば、当市においてはどのように活かしていく考えか。

橋爪法一議員

(14番目 9月20日(金)午後の見込み)

1. 市長の不適切発言とその対応について

(1) なぜ、不適切発言が続くのか。市長はその原因をどう認識しているか。

(2) 一連の不適切発言後、関係団体などに謝罪しているが、謝罪は受け入れられたのか。特に6月議会での不適切発言に関して、相手方の受け止めをできるだけ具体的に明らかにしていただきたい。

(3) 6月議会での不適切発言は全国ニュースになったが、なぜそうなったと認識しているか。

(4) 6月議会での不適切発言後、進退について明らかにするまで時間がかかったが、何をどう検討したのか。この発言は即辞職に値する重みは無いとの認識か。市民の声をどう把握し、評価したか。

(5) 続投を決断した一番の理由は何か。辞職を選択しなかった理由の一つに「行政の空白」が起きることをあげているが、どうして「行政の空白」が生まれるのか。

9月議会初日 上野議員が総括質疑
あえて市長部局への質疑はせず



9月定例議会が始まりました。すでにお知らせしている通り、今議会の冒頭で市長に対する不信任決議案が上程され、ただちに審議が行われた結果、否決されました。しかし、7月臨時会での辞職勧告決議案に続いて不信任決議案が提出されたことは、それだけ市長に対する市民の信頼度が低くなっており、一刻も早く混乱を収束させるために辞職すべきだという声が多くなってきています。党議員団としては、「不適切な言動を繰り返してきた中川氏には市長の資質がない」として、引き続き毅然とした姿勢で臨みます。

初日の午後、総括質疑に立った上野議員は、教育長と論戦を交わしました。概要は次の通りです。

Q リージョンプラザ上越の管理運営については、現在指定管理者の不正行為の疑いがあるため調査中だが、その予算執行額について、「実績報告書の内容を精査中であるため、令和5年度における支払額を計上している」とあるが、この数値は単なる実績値であり、決算額ではない。どう考えているのか。

A 地方自治法では、自治体の出納は、翌年度の5月末日で閉鎖すると規定されており、決算の対象は、会計年度ごとの出納閉鎖までの執行額とされているので、記載の額が令和5年度の決算額となる。

Q 学校給食費では、令和3年度から毎年のように食物アレルギーの誤飲・誤食事故や異物混入が発生しているが、事故発生の原因をどのように分析しているか。

A 誤食事故は、学校栄養教職員が配合成分表を未確認のまま発注したことに加え、調理員が原材料の記載を見落としたことが原因であり、双方の思い込みや確認の不徹底、コミュニケーション不足、業務分担や必要な作業の曖昧さがあったことを確認している。

Q 学校栄養教職員はどのように配置されているか。

Q 学校栄養教職員はどのように配置されているか。また、それは十分だったか。遠隔地の学校を兼任しているような事例はなかったか。

A 学校栄養教職員の配置人数は、国の配置基準によるものであり、担当学校数は、本務校と兼務校合わせて2〜4校となっている。担当校は近隣となるよう配慮しているが、仮に距離が遠くなったとしても、勤務は1日単位であり特段の支障はない。

Q 学校栄養教職員と調理担当者との間の連携は適切だったか。日頃からの信頼関係に基づくコミュニケーションは、十分に取れていたのか。

A 全ての学校で、調理員は、学校栄養教職員の調理指示をもとに作業しており、問題が起きた場合などには必ず学校栄養教職員等に確認・指示を仰ぐ体制をとっており、連携がしっかりと図られるよう意識している。しかし、食物アレルギー誤食事故が発生した学校では、学校栄養教職員と調理員との連携が不十分であったことから、研修等の機会に双方で確認・声かけすることの必要性について理解を深め、しっかりと連携するよう繰り返し指導している。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.844 2024年9月15日
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>